

|          |                                   |              |                     |                    |             |
|----------|-----------------------------------|--------------|---------------------|--------------------|-------------|
| 開設講習名    | 【選択】多様化する英語(Englises)について考える      |              | 講師                  | 松谷 緑               |             |
| 講習会場     | 山口大学吉田キャンパス                       |              | 会場所在地               | 山口県山口市             |             |
| 開設日      | 平成 29 年 11 月 23 日                 |              | 時間数                 | 6 時間               | 受講予定人数 40 人 |
| 受講者募集期間  | 平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日 |              | 履修認定時期              | 平成 30 年 1 月 15 日まで |             |
| 履修認定対象職種 | 教諭                                | 主な受講対象者      | 小学校教諭, 中学校・高等学校英語教諭 |                    |             |
| 受講料等総額   | 6,000 円                           | (うち受講料以外の経費) |                     |                    |             |

**【到達目標】**

英語でのコミュニケーションを支える基本的な知識について、グローバル化する英語の実態に照らして理解を深める。

**【講習の概要】**

講習は、次の3つから構成されます。(DVD 視聴、講義、グループ協議を織り交ぜて行います。)

1) 英語の実態把握: 言語は時代とともに変化します。世界で用いられ多様化する英語の状況について、DVD の視聴等を通して理解を深めます。さらには、そういった現代のグローバル化の中で、英語という言語の姿やあり方が実際の使用においてどのように変化してきているのかについて考察します。

2) 理論: 英語学や言語学における最近の研究成果について、社会と言語の関係・言語と脳・母語の獲得と第二言語の習得・認知言語学・コーパス研究といった分野を中心に紹介します。

3) 考察・協議: 子どもの発達に応じた言語の指導について考えます。日本語あるいは英語でのコミュニケーションにおいて、現代の子どもたちが苦手なところはどこか、また、日本人が英語を学習する際、習得しにくいところはどこか、またそれへの対応をどうすればよいか、グループ協議も行いながら、問題解決の方法を考えます。上記の1) 2)をふまえ、以下のような観点からいくつか取り上げます。取り上げる項目については、事前アンケートの結果を踏まえて決定します。

- ・英語でコミュニケーションができるようになるとは具体的にどういうことか
- ・日本人学習者が英語学習において苦手とすることは何か
- ・発音指導において留意すべきことはどういうことか(日本語と英語の発音の相違)
- ・書くことの指導をどのように進めるか(日本語と英語の表記法の相違)
- ・コミュニケーションのための文法は何を優先すべきか

**【評価の方法・評価基準】**

評価の方法: 筆記試験(資料や辞書は使用可)

評価基準: 合格: 講義の内容を理解し、説明できる。また、学んだ知識を応用して考察することができる。

不合格: 上記以外

**【テキスト・参考文献】**

事前にテキスト(資料)を配布予定。

**【受講者への伝達事項】**

筆記用具、英和辞書あるいは英英辞書(その両方でも構いません、日頃ご使用のもの、また、電子辞書でも構いません)を準備してください。